

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	高齢福祉係
■評価事業名称	ふれあいのまちづくり事業費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	043100 - 006	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	04 共に支えあう地域福祉の推進		
	■施策	01 地域で支えあう福祉サービスの仕組みづくり		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	第5次北上市高齢者保健福祉計画			
■事業の目的と概要	高齢者、障害者等が住みなれた地域で生活できるよう、地域住民による見守りの支援体制がつくられる。ふれあいまちづくり事業への補助(出張理容、小地域ネットワーク等)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	ふれあいのまちづくり事業費補助金	高齢者及び障害者	- 出張理容述べ70人 - 小地域ネットワーク34ネット - 除雪事業425回	- 出張理容述べ43人 - 小地域ネットワーク31ネット - 除雪事業315回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	676	677	676	676	
人件費	229	537	223	225	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	905	1,214	899	901	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	ふれあい事業の推進	349ネット	350ネット	358ネット	324ネット	要援護者が安心して生活ができるように見守り安否確認等を支援(小地域ネットワーク数)

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	小地域を単位に要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた見守り体制や安否確認が行われた。	協力者の高齢化、協力者のいない地域への対応、担い手となる協力者の充実させることが課題である。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☒ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☒ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)		
独り暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、ニーズは高まると思われる。		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小